



導入事例 メールアドレス収集・メール配信サービス「milmel」

誰もが簡単に始められる、 「緊急連絡手段」とは？

メール一斉配信の活用で、コロナ禍における緊急連絡体制の確立に成功した事例をご紹介します。

取材協力

高岡市福祉保健部 子ども・子育て課 保育・幼稚園室 主幹 松崎 優子 様
高岡市西部保育園 園長 長柄 美香 様

導入事例
完全版を見る



高岡市福祉保健部 子ども・子育て課 様

西部保育園など、市内13の市立園を運営しています。また、保育料の算定、児童手当や医療費助成の手続き、といった業務も担っています。

課題

- ・コロナ禍における一斉連絡手段の確立
- ・緊急連絡にかかる時間の短縮
- ・シンプルで汎用的な手段の選定

効果

- ・「安心感」が得られる情報伝達手段に
- ・保護者への連絡は、最短で5分程度に
- ・誰でも簡単利用、費用はお手頃に

— 保育現場の課題を教えてください。 —

(松崎) 緊急時、保護者に一斉連絡する手段がなかったことです。「大雨警報が出て早く迎えに来てほしい」「クマが出たから登園時は注意してほしい」といった連絡は、各園から保護者へ直接電話していました。

高岡市には13の市立園があり、それぞれ約40名～120名の園児がいます。緊急連絡は、保護者にいち早く伝える必要がありますが、全員に電話すると、1～2時間はかかってしまいます。電話が繋がらない場合は、何度もかけ直していました。



コロナ禍により、園児や保育士の感染状況を素早く連絡する方法が必要になり、検討を始めました。

— 採用の決め手を教えてください。 —

(松崎) メール一斉配信の機能が誰でも簡単に使えること、汎用的なサービスなので費用が抑えられること、情報を素早く・正確に発信できることが決め手でした。

— 初めて使ってみた時の感想は？ —

(長柄) シンプルで使いやすいと思いました。最初はみんなにちゃんと届くかドキドキしました。内容や宛先に誤りがないよう、2人で確認し、送るようにしています。

— 効果はいかがですか？ —

(長柄) 園児や保育士のコロナ感染状況を、一斉メールで素早く保護者に連絡できるので、すごく助かっています。早い時は、メールを作り始めてから5分ほどで送信できます。

園児の受け入れや保護者からの電話対応などでバタバタする朝の時間帯は、送り忘れが



ないように、メールを予約配信しています。保育に集中しながら、確実に情報を伝達できるので、安心です。

(松崎) 災害時など、園からの連絡が遅れることにより、園児に危険が生じてはいけません。園児の安全を第一に考えたので、「危機管理の体制を整えられた」という安心感があります。

— 保護者の反応はいかがでしたか？ —

(長柄) 「電話だと仕事で出られないときがあり、メールで受け取れるのは助かる」という声をいただきました。保護者の方には、すんなり受け入れてもらえたので、ホッとしています。

— 今後の展望を教えてください。 —

(松崎) 当初の目的は、緊急時の一斉連絡を可能にすることでしたが、緊急時以外でも使えそうだと考えていました。現場の声を聞き、活用の幅を広げたいですね。

高岡市西部保育園

〒933-0849 富山県高岡市横田本町 4-5
TEL/FAX 0766-22-2054



\\ アツメル × オクレル = 「^{ミリメル}milmel」 \\

アドレス収集～配信が カンタンにできる!

手順は、4ステップ! 始めやすい価格!

Step 1	Step 2	Step 3	Step 4
アドレス収集用 フォーム作成	URL・QR コード配布	アドレス収集	メール配信

月額プラン **4,000** 円/月 (税抜)

年額プラン **44,000** 円/年 (税抜)

milmelの概要、機能、画面イメージなどを
解説したカタログはこちら



無料トライアルはこちら



HCSのよこがお

営業本部 富山ソリューション営業部
上席マネージャー

ふじい ゆうき
藤井 勇樹さん

Q. 今春、上席マネージャーに就任された意気込みをお願いします。

これまではチームメンバに対し案件ベースの支援が多かったですが、これからはメンバー一人ひとりの強みを見極め、担当配置・作業分担などを行っていく予定です。若手もベテランも得意分野で戦える、働きやすい環境を整えることで、お客さまへの提案

力UPにつなげていきます。

いちプレーヤーとしても積極的に活動し、お客さまの課題を解決していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

Q. 休日の過ごし方を教えてください。

親子で毎週末テニス漬けです。一緒にプレーしたり、息子がテニススクールで学ん

だことを確認しあったり。息子の北信越大会出場を目指し、親子二人三脚で頑張っています。



編集後記

北陸の梅雨入りは平年で6月11日頃。天気予報では傘マークが目立つようになり、梅雨がすぐそこまで来ているのを感じます。

本号でご紹介した「milmel」は、当社の業務効率化にも大変役立っています。簡単に使える反面、うっかりミスをしないよう、西部保育園様同様、複数人で内容をチェックしています。

最近、メール誤送信のニュースをよく目にしますが、誤送信で情報漏洩すると一瞬にして会社の信用を失うこととなります。システムを操作するのは人、常に細心の注意を払って利用したいものです。(まつお)

例1 幼保・学校の連絡ツール

緊急のものから、ちょっとした内容まで、保護者に連絡する手間を大きく軽減!



暴風警報のため、今日は16時まで
お迎えに来てください。

例2 社内連絡用の配信ツール

全社への一斉案内や、部署内の連絡ツールとして利用。



営業部から、お知らせです。

例3 顧客へのPRツール

収集した顧客情報を元に、ターゲット層を絞ってメール配信。効果的なPRツールとして活用!



会員様特別価格!
今月は「県産しょうゆ」がお買い得です。

皆さまのご意見をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。

≫ 『HCS NewsLetter ご意見箱』への投稿はこちら

全カパートナー



北陸コンピュータ・サービス株式会社

NewsLetter 編集室

TEL: (076)495-9824 HP: <https://www.hcs.co.jp/>